

(参考様式4-1)

鹿児島県霧島市霧島地区活性化計画 改善計画書

平成26年9月25日作成

都道府県名	計画主体名	地区名	計画期間	実施期間
鹿児島県	霧島市	霧島地区	平成21年度～ 平成25年度	平成21年度～ 平成22年度
事業メニュー名		事業内容及び事業量		事業実施主体
「高生産性農業用機械施設」 「リサイクル施設」		肥育舎（木造平屋建スレート屋根3棟421.2㎡×3棟＝1,263.6㎡）、子豚舎（木造平屋建スレート屋根1棟259.2㎡）、分娩舎（木造平屋建スレート屋根1棟272.16㎡）、交配・妊娠豚舎1棟（木造平屋建スレート屋根1棟387.0㎡）管理棟（木造平屋建1棟70.2㎡）農機具庫（木造平屋建1棟48.0㎡） 堆肥処理施設1機 発酵槽容積 41㎡ 処理能力 1日/4.5t		農事組合法人霧島高原純粋黒豚牧場

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
地域産物の販売額の増加 (黒豚・堆肥)	% 131.62	% 76.88	% 58.41	
地域産物の販売量の増加 (堆肥)	% 87.21	% -4.37	% -5.01	

2 目標が達成されなかった要因

<ul style="list-style-type: none"> ・地域産物の販売額の増加（黒豚・堆肥販売額の合計）について、黒豚の販売は計画前5ヵ年の実績は上回っていますが、計画期間の5ヵ年の計画には届いていない状況です。その要因として平成22年度の口蹄疫の発生と子豚導入が当初の計画どおり行かなかった事が考えられます。その他、母豚導入の遅れや回転率の低下などによる生産率の低下が原因で達成できませんでした。 ・堆肥の販売は、製品の品質向上は図られたものの運搬車が無く、粉末状のため飛

散し、散布しにくいなどの問題が発生したため計画に沿った展開が出来ませんでした。

・堆肥の生産量については、子豚導入頭数の減もありますが、堆肥処理の能力向上もあり完熟堆肥が出来たことで量も増えませんでした。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度	平成30年度
事業の推進体制	・黒豚の販売については、農場全体の防疫体制の強化と衛生対策、肉質改善に取り組むことと消費者へのPR活動等を積極的に進めます。堆肥の販売については周辺農家との連携を密にしていきます。黒豚・堆肥の販売を事業実施主体、地区、市で連携して事業推進に取り組んでいきたいと思ひます。
具体的方策	・黒豚の販売量の増加のために、母豚の飼養管理に重点を置いて繁殖成績の向上と、事故率の低減を図り生産率の向上を目指す。また、衛生対策のための防疫体制の強化、出荷運搬車の農場への出入りを禁止し、従業員の通勤車に常に噴霧器を常備させて防疫体制を強化する。 ・堆肥の販売戦略として、周辺農家との連携を図り農商工連携の強みを最大限に利用し、耕種農家へ販売促進の強化を図ります。その方策として耕種農家との直接交渉を行い、農作物の買い上げ等のメリットを設けるなどの工夫を行い堆肥販売の強化をしたいと思います。（年700t～800t）

4 改善計画に対する第三者の意見

(コメント)

本施設整備により、かごしま黒豚のブランド確立に一定の効果はあったと考える。

黒豚及び堆肥の販売額の増加、黒豚及び堆肥の販売量の増加について、特に堆肥の販売額・販売量の目標達成については大変厳しいものがあると推察するが、耕種農家との連携など改善計画の具体的方策について、毎年達成状況について分析と評価を行うなど改善を進め、目標が達成され地域農業の活性化に繋がることを期待します。

(鹿児島県霧島市霧島 栞野地区自治公民館長；川野茂樹)